

CDP から“サプライヤー企業”の気候変動対応に対する最高評価 「The Supplier Climate A List 2016」に認定

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷和朗）は、持続可能な経済を実現させる国際非営利団体（NGO）であるCDPにより、最高評価の「サプライヤー気候変動Aリスト」企業として認定されました。同リストは、「CDPサプライチェーンプログラム」において気候変動に対応するための行動と戦略のグローバルリーダーであると評価されたサプライヤー企業群が認定されるものです。

CDPは、2016年の「CDPサプライチェーンプログラム」において、総購買額2.7兆米ドルに達するグローバル企業89社の委託により、サプライヤー企業4,300社以上の気候変動緩和に関する取り組み情報を収集し、評価を行いました。この内、特に優秀であるとされた112社（全体の2.5%）が「サプライヤー気候変動Aリスト」企業として認定されました。

今回の認定は、地球温暖化ガス削減に向けて積極的な目標を設定し、エネルギーモニタリングシステムを導入した新たな取り組みや、グローバルデータの開示を推進したこと、開示データにおいて第三者検証範囲を拡張したこと、更には、新工場におけるエネルギー効率の高い省エネ技術を導入したことなどが評価されたものと考えます。

当社は、「独創的なモーションコントロール技術で移動・生活空間に安全・安心・快適を提供する」を企業理念に、人々の暮らしを支える社会基盤を構築する重要な製品を提供しています。付加価値の高い製品の提供により、社会・経済の発展に貢献することを企業の責任として認識し、CSR活動に積極的に取り組んでいます。今後も環境側面を含めたESG（環境・社会・ガバナンス）情報の発信強化を通じて、ステークホルダーの皆さまの信頼を得ながら、グローバルな環境課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

以上



※「サプライヤー気候変動Aリスト」企業一覧は下記 URL よりご確認ください。
<https://www.cdp.net/en/research/global-reports/global-supply-chain-report-2017>